

林地環境に適応した広葉樹の施業体系の確立

【背景と目的】

都内で広葉樹造林が進められていることから、広葉樹施業における林地環境に適応した目標林型を定めるための指針を作成し、その目標林型を目指すために造林樹種を選抜し、育林技術を確立する。

【研究概要】

（１）広葉樹造林の事例の整理と分類

これまでの広葉樹造林の事例や論文、文献等を調査分析し、林地環境や社会条件に適応した目標林型に分類する。

（２）広葉樹造林地における更新樹種の適性評価

伐採跡地などに植栽された広葉樹の活着率や初期成長量を測定し、植栽された広葉樹の初期成長特性を評価する。

（３）広葉樹造林地における保育作業の検証

保育作業が行われた広葉樹造林地において、保育の前後での活着、樹高の経年変化を調査し、広葉樹における保育作業の効果を評価する。